

この度は弊社製品をご購入頂き誠に有難うございます。

**はじめに、必ず本紙と取扱説明書または仕様書等をお読みご理解した上でご利用ください。本冊子はいつでも見られる場所に大切に保管してください。**

## 【ご利用にあたって】

1. 本製品のデザイン・機能・仕様は性能や安全性の向上を目的に予告なく変更することがあります。また、価格を変更をする場合や資料及び取扱説明書の図が実物とは異なる場合もあります。
2. 本製品は著作権及び工業所有権によって保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。

## 【限定保証】

1. 弊社は本製品が頒布されているご利用条件に従って製造されたもので、取扱説明書に記載された動作を保証致します。
2. 本製品の保証期間は購入戴いた日から1年間です。

## 【保証規定】

保証期間内でも次のような場合は保証対象外となり有料修理となります

1. 火災・地震・第三者による行為その他の事故により本製品に不具合が生じた場合
2. お客様の故意・過失・誤用・異常な条件でのご利用で本製品に不具合が生じた場合
3. 本製品及び付属品のご利用方法に起因した損害が発生した場合
4. お客様によって本製品及び付属品へ改造・修理がなされた場合

## 【免責事項】

弊社は特定の目的・用途に関する保証や特許権侵害に対する保証等、本保証条件以外のものは明示・黙示に拘わらず一切の保証は致し兼ねます。また、直接的・間接的損害金もしくは欠陥製品や製品の使用方法に起因する損失金・費用には一切責任を負いません。損害の発生についてあらかじめ知らされていた場合でも保証は致しかねます。ただし、明示的に保証責任または担保責任を負う場合でも、その理由のいかんを問わず、累積的な損害賠償責任は、弊社が受領した対価を上限とします。

本製品は「現状」で販売されているものであり、使用に際してはお客様がその結果に一切の責任を負うものとします。弊社は使用または使用不能から生ずる損害に関して一切責任を負いません。

保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が転売された第三者には適用されません。よって転売による第三者またはその為になすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

本製品を使った二次製品の保証は致しかねます。

**製品をご使用になった時点<sup>※1</sup>で上記内容をご理解頂けたものとさせていただきます**

ご理解頂けない場合、未使用のまま商品到着後、1週間以内に返品下さい。代金をご返金致します。尚、返品の際の送料はお客様ご負担となります。ご了承下さい。

※1 製品が入っている北斗電子ロゴ入り袋を開封した時点でご使用したとみなします

# R8C Base Board シリーズ R8CBB32R8C26 取扱説明書



R8C ファミリー 実装評価用ベースボード

## 概要

本ボードは、ルネサス エレクトロニクス製 R8C ファミリー 32 ピンパッケージ実装の共通ボードとして広くご活用いただけるようご用意致しました。マイコン別内蔵 ROM 書き込みソフトをご用意し、オプションボードとの組み合わせで、安価且つ迅速な開発環境をご提供します。

## 別売 オプション

- ・Tiny I/O 2 (I/O ボード)
- ・専用 RS232C ケーブル (3P-Dsub9P-JAE)
- ・AC アダプタ+3.3V (JAE), AC アダプタ+5V (JAE)
- ・ユニバーサルボード(34P)

## 製品内容

マイコンボード BB32S8C26..... 1枚  
 DC 電源ケーブル(2P 片側圧着済 30cm:JAE) 1本  
 RS232C ケーブル(3P 片側圧着済 1.5m:JAE) 1本  
 34PIN ボックス型コネクタ(ストレートオス)..... 2個  
 付属ソフト収録 CD(R8CBB シリーズ付属CD) 1枚  
 回路図..... 1部

## 仕様

### 実装マイコン 32P6U-A パッケージ

実装マイコン型名は必ず製品実装マイコン記載をご確認下さい

ベースボード	実装マイコン型名	ROM 容量		RAM 容量	実装クロック※
		プログラム領域	データ領域		
BB32A262SNF	R5F21262SNFP	8K	-	512	20MHz
BB32A264SNF	R5F21264SNFP	16K	-	1K	
BB32A265SNF	R5F21265SNFP	24K	-	1.5K	
BB32A266SNF	R5F21266SNFP	32K	-	1.5K	
BB32A272SNF	R5F21272SNFP	8K	2K	512	
BB32A274SNF	R5F21274SNFP	16K	2K	1K	
BB32A275SNF	R5F21275SNFP	24K	2K	1.5K	
BB32A276SNF	R5F21276SNFP	32K	2K	1.5K	

※クロックはクリスタルソケット使用 ユーザにて差替え可

## インターフェース

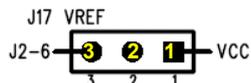
- 内蔵 ROM 書換えインタフェース(3P) 3P コネクタ実装
  - 内蔵 ROM 書換えインタフェース 20P コネクタ実装  
※弊社オンボードプログラマ付属ケーブル対応
  - デバッグインタフェース 14P コネクタ実装  
※ルネサス エレクトロニクス E8a 対応
  - FoUSB インタフェース 10P コネクタ実装
  - オプションボード接続インタフェース 2 個
- ※各MIL規格準拠ボックスプラグ 34P×2 未実装

### J5 RXD 切替ジャンパについて

- 1-2 ショット★... RXD1 端子を J6 にて使用
- 2-3 ショット... RXD1 端子を J3 にて使用

### J17 VREF 切替ジャンパについて

- 1-2 ショット... VREF 電圧に VCC を入力
- 2-3 ショット★... P4\_2 を J2-6 に接続



※製品出荷時は★印の設定でジャンパフラグを設定しています。

J8 DC電源入力3.3~5V ■GND ●VCC

SW1 リセット

SW2 MODE 切替スイッチ

PROGRAM 側スライドで書込、反対側で RUN

**【動作確認の方法】** 後述の「ハード接続」の結線図に応じたコネクタで RS232C ケーブルをご用意下さい。R8CBaseBoard の J6 をご利用の PC のシリアルポートと接続します。HyperTerminal 等のシリアル通信ソフトを起動しボード電源を投入すると、出荷時書き込み済みプログラムの起動メッセージが表示されます。ボード上 RESET ボタンを押す操作でも起動メッセージを表示します。待ち受け画面でPCのキーボードより入力した文字のエコーバックがプロンプトに表示されます。プログラムの詳細はデモプログラムソース及びそのコメントをご覧ください。

## 安全上のご注意

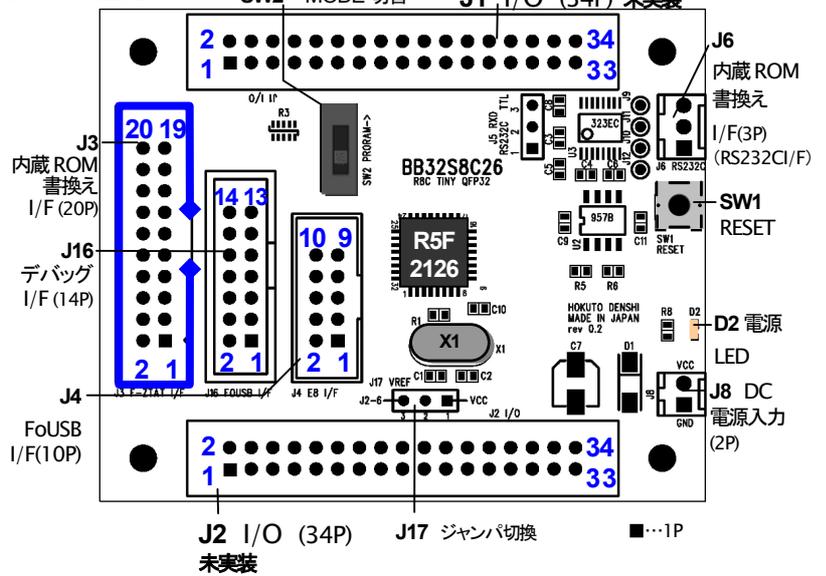
製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。絵表示の意味をよく理解した上でお読みください。

### 表記の意味



取扱を誤った場合、人が軽傷を負う可能性又は、物的損害のみを引き起こす可能性がある事が想定される。

## ボード配置図



※ 基板上の J4 と J16 の表記が反転しておりますので、ご注意ください

※ J3 内蔵 ROM 書換え I/F(20P)は基板上のシルクでは F-ZTAT I/F となっております

※ 積層セラミックコンデンサ 0.1μF C1608JB1H104K (TDK) 左記に値する部品もしくは、同等品を使用しています

ボードサイズ 70mm × 58mm

ボード電源 DC3.3V~5V リセット電圧は 3.3V 用



**電源の極性及び過電圧には十分にご注意下さい。**  
 極性を誤ったり、規定以上の電圧がかかると、製品の破損、故障、発煙、火災の原因となります。

## CD 収録ソフトについて

R8CBB シリーズマイコンボード付属CDとして、マイコン別フォルダにそれぞれ書き込みソフト・デモプログラムが収録されています。実装マイコン型名をご確認になってご利用下さい。

## 書き込みソフト動作環境

書き込み時の通信レートは 9600bps 固定です。

書き込み可能ファイル形式...MOTファイル PC インタフェース...RS232C ポート

OS(32bit)...Windows95, 98, NT, Me, 2000, XP, Vista, 7

## デモプログラム

デモプログラムとしてシリアル通信での入力プログラムが収録されています。シリアル通信ソフトを使用して入力文字のエコーバックをプロンプトに表示します。出荷時内蔵ROMへ書き込み済みMOTファイルとデモプログラムソースがCDに収録されています。収録の参考バッチファイルは、ルネサス エレクトロニクス純正コンパイラを前提に記述されています。また、ご購入時は必ず、付属 RS232C ケーブルにてPCと接続し、電源を投入後のデモプログラムの動作をご確認下さい。

### シリアル通信ソフト側設定

ビット/秒	9600,	データビット	8,
パリティ	無,	ストップビット	1,
フロー制御	なし,	詳細設定	不要

# コネクタ信号表

## J1・J2 I/O (34P) 未実装

マイコン別信号名				マイコン別信号名					
R5F2126x系・R5F2127x系		J1		R5F2126x系・R5F2127x系		J2		R5F2126x系・R5F2127x系	
マイコン端子									マイコン端子
	GND	1	2	GND					
	NC	3	4	NC					
	NC	5	6	NC					
2	P3_7/TRA0/SSO/RXD1/(TXD1)	7	8	P3_3*/INT3/SSI/TRCCLK	23				
1	P3_5/SCL/SSCK/(TRCIOD)	9	10	NC					
	NC	11	12	NC					
25	P0_7/AN0	13	14	P0_6/AN1	26				
27	P0_5/AN2/CLK1	15	16	P0_4/AN3/TREO	28				
	NC	17	18	NC					
	NC	19	20	NC					
12	P3_1/TRBO	21	22	NC					
	NC	23	24	NC					
	NC	25	26	P3_5/SCL/SSCK/(TRCIOD)	1				
24	P3_4/SDA*/SCS/(TRCIOC)	27	28	P3_4/SDA*/SCS/(TRCIOC)	24				
	NC	29	30	NC					
	VCC	31	32	VCC					
	GND	33	34	GND					

## J3 内蔵ROM書換えインタフェース (20P)

R5F2126x系・R5F2127x系	J3	共通		
	*RESET	1	2	GND
	NC	3	4	GND
	NC	5	6	GND
	NC	7	8	GND
	NC	9	10	GND
	NC	11	12	GND
8	MODE	13	14	GND
2	P3_7/TRA0/SSO/RXD1/(TXD1)	15	16	GND
9	P4_5*/INT0/(RXD1)	17	18	VCC
	NC	19	20	VCC

## J4 FoUSB インタフェース (10P)

R5F2126x系 R5F2127x系	J4	R5F2126x系・R5F2127x系		
	VCC	1	2	MODE
	NC	3	4	P4_5*/INT0/(RXD1)
	NC	5	6	NC
	GND	7	8	*RESET
	NC	9	10	P3_7/TRA0/SSO/RXD1/(TXD1)

J6 RS232C		
1	2	P3_7/TRA0/SSO/RXD1/(TXD1)
2	-	GND
3	9	P4_5*/INT0/(RXD1)

## J16 デバッグインタフェース (14P)

R5F2126x系・R5F2127x系	J16	共通		
	NC	1	2	GND
	NC	3	4	GND
2	P3_7/TRA0/SSO/RXD1/(TXD1)	5	6	GND
8	MODE	7	8	VCC
	NC	9	10	GND
9	P4_5*/INT0/(RXD1)	11	12	GND
3	*RESET	13	14	GND

※ デバッグ時はSW2をPROGRAMの反対側へスライドして下さい

## 実装及び付属コネクタ

コネクタ	極数
J1・J2 I/O (付属)	34
H310-034P (Conser)他 MIL規格ボックス	
J3 内蔵ROM書換えインタフェース	20
H310-020P (Conser)他MIL規格ボックス	
J4 FoUSB インタフェース	10
H310-010P (Conser)他 MIL規格ボックス	
J16 デバッグインタフェース	14
H310-014P (Conser)他MIL規格ボックス	
J6 RS232C	3
IL-G-3P-S3T2-SA (JAE) 適合 IL-G-3S-S3C2-SA	
J8 DC電源入力(3.3V~5V)	2
IL-G-2P-S3T2-SA (JAE) 適合 IL-G-2S-S3C2-SA	

J1, J2, J3, J4, J16は Conser 製もしくは互換品(MIL規格準拠 2.54 ピッチボックスプラグ 切欠 中央1箇所)を使用。



## 注意

各端子には逆電圧・過電圧防止回路が入っておりません。破損を避けるために、信号を入力する場合には振幅をGND~VCCの範囲になるようにご注意ください。

範囲を超えた信号が入力された場合、永久破損の原因となります。

## <備考>

※ \* は負論理。NCは未接続。

※J16 デバッグ I/F のコネクタピン番号とルネサス エレクトロニクス のコネクタとピン番号の数が一部異なる場合がございますのでご注意ください。

※ マイコン側仕様は、必ずルネサス エレクトロニクス 当該マイコンハードウェアマニュアルをご確認ください。

## 書き込みソフトの利用方法

付属CDに収録した書き込みソフトを使用して、用意したユーザプログラムをマイコンボードへ書き込む方法は次の通りです。 xx...マイコングループ型名

ユーザプログラム作成 ⇒ R5F212xx\_Programmer.exe インストール ⇒ ハード接続 ⇒ R5F212xx\_Programmer.exe で書込 ⇒ プログラム動作確認

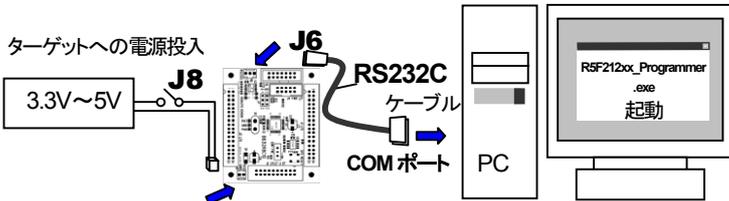
MOT ファイル生成 付属CDよりご利用の PC へ 結線図の RS232C ケーブル R5F212xx\_Programmer.exe を起動し ユーザプログラムを実行  
 当該マイコン用書き込みソフト、 と電源ケーブルを接続 書込みます 動作を確認  
 R5F212xx\_Programmer.exe をコピーします

### 注意!

本プログラムは付属ボードの評価用に添付されたものです。付属ボード評価のみにご利用下さい。付属評価ボード以外へのご利用にしましては、弊社は一切の責任を負いません。

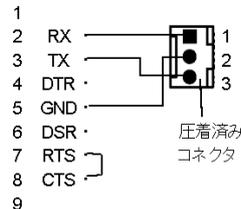
## ハード接続

用意した RS232C ケーブル、電源ケーブルで次の通り接続します。

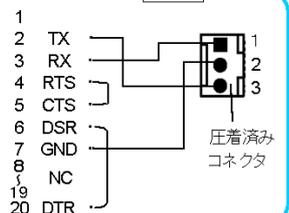


## <結線図>

### DSUB9P の場合 [DOS/V]



### DSUB25P の場合 [PC9801]



※付属の RS232C ケーブルを使って、結線図に応じたケーブルをご用意して下さい  
 ※別売オプション品 専用 RS232C ケーブル(3P-Dsub9P-JAE)もございます

## R5F21104\_Programmer.exe でのユーザプログラム書き込み操作

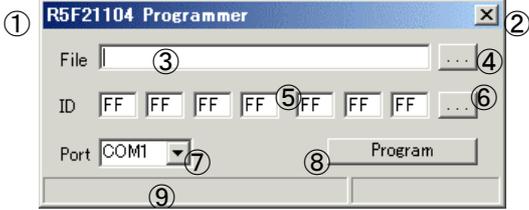
R5F21104\_Programmer.exe は R5F21104 の内蔵 ROM にユーザプログラムを書込むソフトです。

※それぞれ当該マイコンの書き込みソフトも同様の手順となります

### 1 R5F21104\_Programmer.exe の起動

PC にコピーした R5F21104\_Programmer.exe をダブルクリックして起動します

#### 初期画面



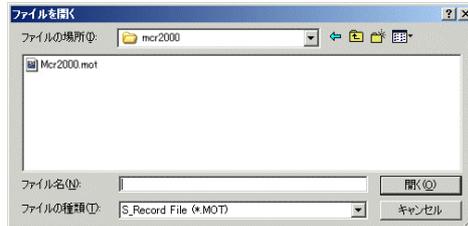
- ① タイトルバー (マイコン名が記載されます)
- ② アプリケーション終了ボタン
- ③ MOT ファイルのパスが表示されます
- ④ MOT ファイル選択ボタン
- ⑤ ID コード入力用ボックス (7 個)
  - 16 進数 2 桁までの入力制御があります
  - デフォルトは全て HFF です
  - MOT ファイル選択時、自動的に同一フォルダに存在する ID ファイルを取得して表示します
- ⑥ ID コードファイル選択ボタン
- ⑦ COM ポート選択コンボボックス (COM1~COM9)
  - プログラム実行中は停止ボタン (STOP) に変わります
- ⑧ プログラムボタン
- ⑨ プログラム実行状況を示すステータスバー

#### R5F21xxx\_Programmer.exe の通信レートについて

書き込み時の通信レートは、9600bps 固定です。  
PC 側の設定等は特に必要ございません。

### 2 MOT ファイル選択

書き込みファイルを選択します。



MOT ファイルを開きます

### 3 ID コード設定

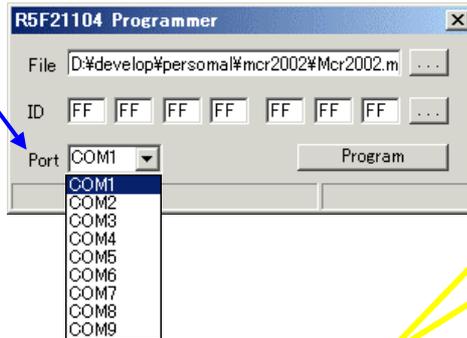
MOT ファイル選択時に自動的に同一フォルダ内の ID コードファイルが選択されます。変更したい場合のみ入力又は又はファイル選択をして、実行して下さい。  
※ID コードが選択されていない場合、⑨ステータスバー に「ID File not found」と表示します

### 4 COM ポート選択

COM Port プルダウンリストから COM ポートを選択します。

### 5 書き込み開始

Program ボタンをクリックします



#### 注意！

SW2 のスイッチ切替操作はマイコン動作中には行わないで下さい。切替時は RESET スイッチを押す等、必ず、ボード電源を切断して下さい。

左記のメッセージが表示されます  
ボード電源を切り、SW2 (MODE=L) のスイッチを PROGRAM 側へスライド、J5 を 1-2 ショートし再度ボード電源を入れてからメッセージ内の OK をクリック  
ステータスバーに書き込み状態表示  
書き込み完了時、メッセージに従い一端 ボード電源を切った状態にし、SW2 を元に戻しメッセージ内の OK をクリック

### ！ エラーメッセージ

#### ●ボーレート合わせ込み時のタイムアウトエラー



#### Check Points

ブートモードに入っていないことが考えられます

- SW2 の切替
- ジャンパピンの設定 J5 1-2 ショート
- 電源投入状態 (バッテリー消耗等)
- シリアルケーブル接続状態 (結線ミス・断線・接触不良)

書き込み時の通信レートは 9600bps 固定です。本書き込みソフトは 8MHz 以上でご利用下さい。

#### ユーザプログラムの実行

DC3.3V~5V を投入し、プログラムはパワーオンでスタートします。

#### ●ID 照合時の ID 不一致

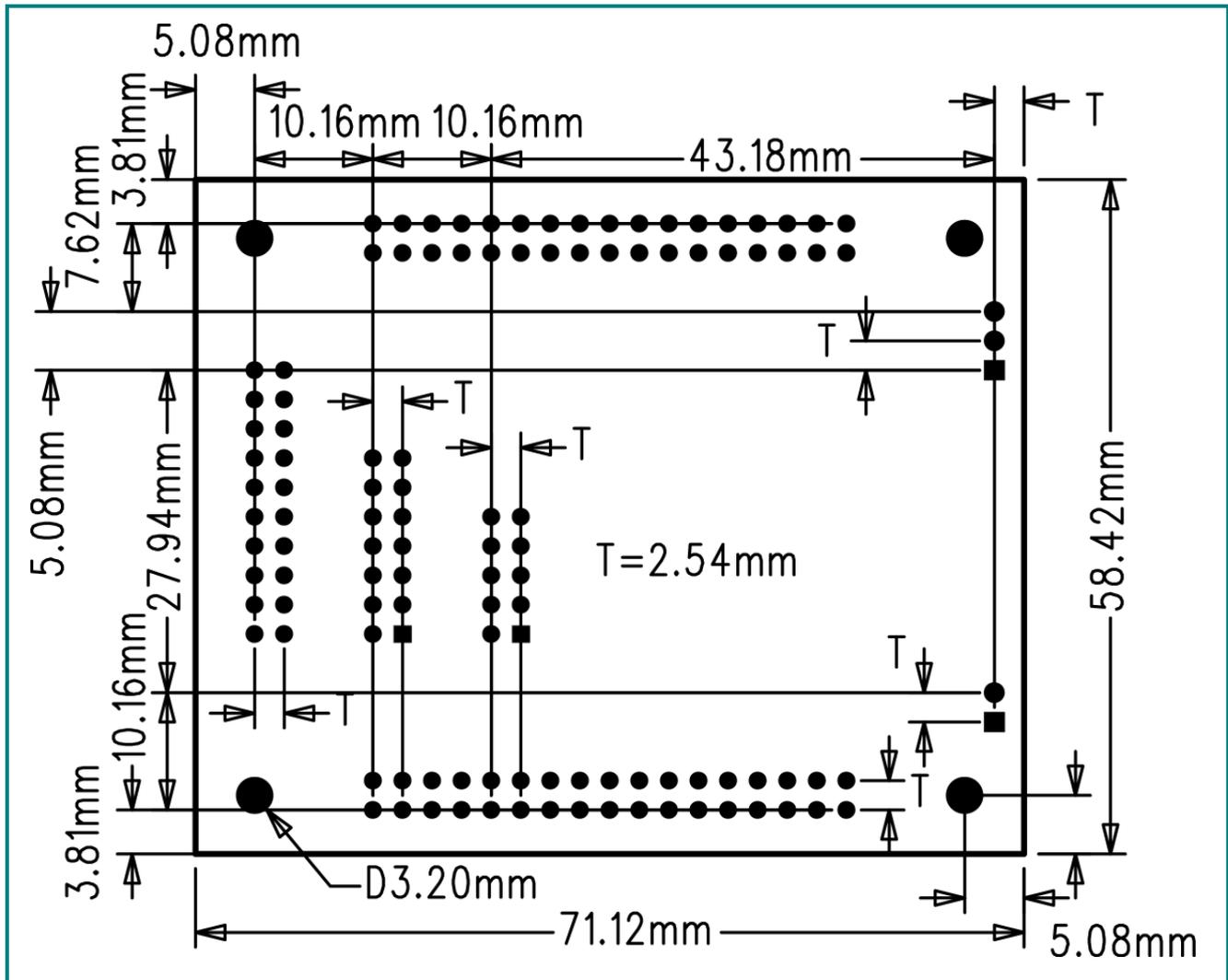


#### Check Points

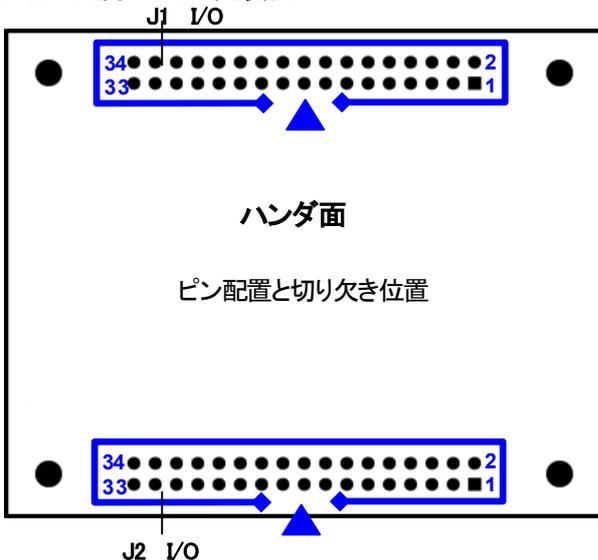
フラッシュメモリに書き込まれているプロテクト ID と入力された ID コードが異なります

- 入力ボックスに正しい ID を入力して下さい

寸法図



ハンダ面 付属コネクタ実装例



※旧製品に合わせる場合は、付属コネクタを左図の様に、コネクタの向きを合わせて、ハンダ面に実装して下さい。

**注意**

- ・ハンダ面にコネクタを実装すると、コネクタ自体に付いている 1 番ピンの印と、基板上のピン番号が異なりますので、ご注意ください。
- ・Base Board シリーズオプションボードは、「付属コネクタ実装例」に合わせて製作されております。オプションボードと併用して本製品をご利用の場合はコネクタの実装面にご注意下さい。

パーソナルコンピュータをPCと称します。F-ZTAT™はルネサス エレクトロニクスの商標です。Windows95, 98, NT, Me, 2000, XP, Vista, 7 は Microsoft 社の製品です。

- ※ 弊社のマイコンボードの仕様は全て使用しているマイコンの仕様準拠しております。マイコンの仕様に関しましては製造元にお問い合わせ下さい。弊社の製品は、予告無しに仕様および価格を変更する場合がありますので、御了承下さい。
- ※ 弊社の添付 CD に収録されております開発環境と書き込みソフトウェアは、評価用につきマニュアル掲載分以外の動作保証は致しかねます。御了承下さい。
- ※ 本ボードのご使用にあたっては、十分に評価の上ご使用下さい。
- ※ 未実装の部品に関してはサポート対象外です。お客様の責任においてお使いください。

**R8CBB32R8C26** 取扱説明書

© 2006-2014 北斗電子 Printed in Japan 2006 年 3 月 22 日初版 REV.4.1.0.0(141020) 株式会社 **北斗電子**  
 E-mail: support@hokutodenshi.co.jp (サポート用), order@hokutodenshi.co.jp (ご注文用) URL: http://www.hokutodenshi.co.jp  
 TEL 011-640-8800 FAX 011-640-8801 〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目 3 番地 7